



【発信日】令和4年7月8日

【問い合わせ先】

大野市役所（2階 22番窓口）

行政経営部政策推進課 山崎、松本

電話 0779-64-4824 内線 2511

市役所窓口業務のデジタル化の推進について

国の「デジタル田園都市国家構想推進交付金」を活用して下記の事業に取り組みます。

記

1 内 容

①市役所窓口での記入を不要とする取り組み

住民票や所得証明書の取得に加え、転入、転居、出生、死亡などの住民異動に伴う手続きなどについて、マイナンバーカードや運転免許証などの提示により、市民が住所、氏名などを書類に記入する手間を削減します。

②近くの公民館と市役所をつなげる取り組み

各地区にある全9つの公民館と市役所をリモートでつなぎ、市役所に来なくても各種相談や申請などの手続きが近くの公民館で行えるよう窓口環境を整備することで、市民の移動の負担を軽減します。

2 導入予定時期

①市役所窓口での記入を不要とする取り組み 令和5年2月末

②近くの公民館と市役所をつなげる取り組み 令和4年11月

3 デジタル田園都市国家構想推進交付金について

【要件】・デジタルを活用して地域の課題解決や魅力向上に取り組むもの

・他の地域等で既に確立されている優良なモデル・サービスを活用して、地域の個性を活かしたサービスを地域・暮らしに実装する取り組み

4 その他のデジタル化の取り組み

「おおのヘルスウォーキングプログラム」や「保育所、こども園、放課後児童クラブの申し込みの原則オンライン化」などの取り組みのほか、市役所内部の業務の効率化に取り組み、デジタル技術を活用した市民サービスの向上に取り組んでいます。

デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用する事業

1 市役所窓口での記入を不要とする取り組み

書かせない窓口推進事業

7月補正予算要求額：16,305千円

＜財源＞ デジタル田園都市国家構想推進交付金	8,152千円
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	6,500千円

2 近くの公民館と市役所をつなげる取り組み

庁内窓口デジタル化推進事業

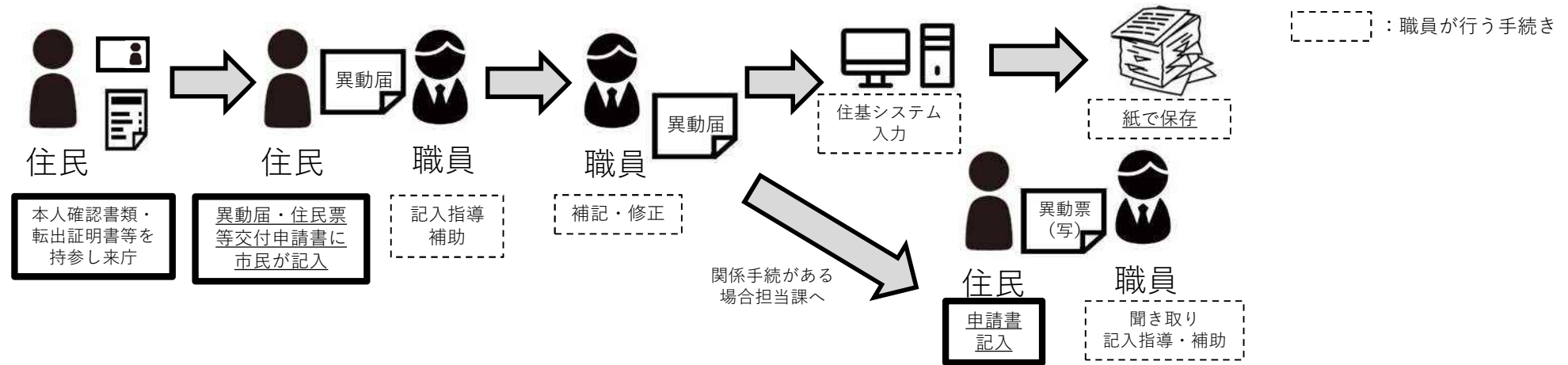
7月補正予算要求額：3,746千円

＜財源＞ デジタル田園都市国家構想推進交付金	1,873千円
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	1,400千円

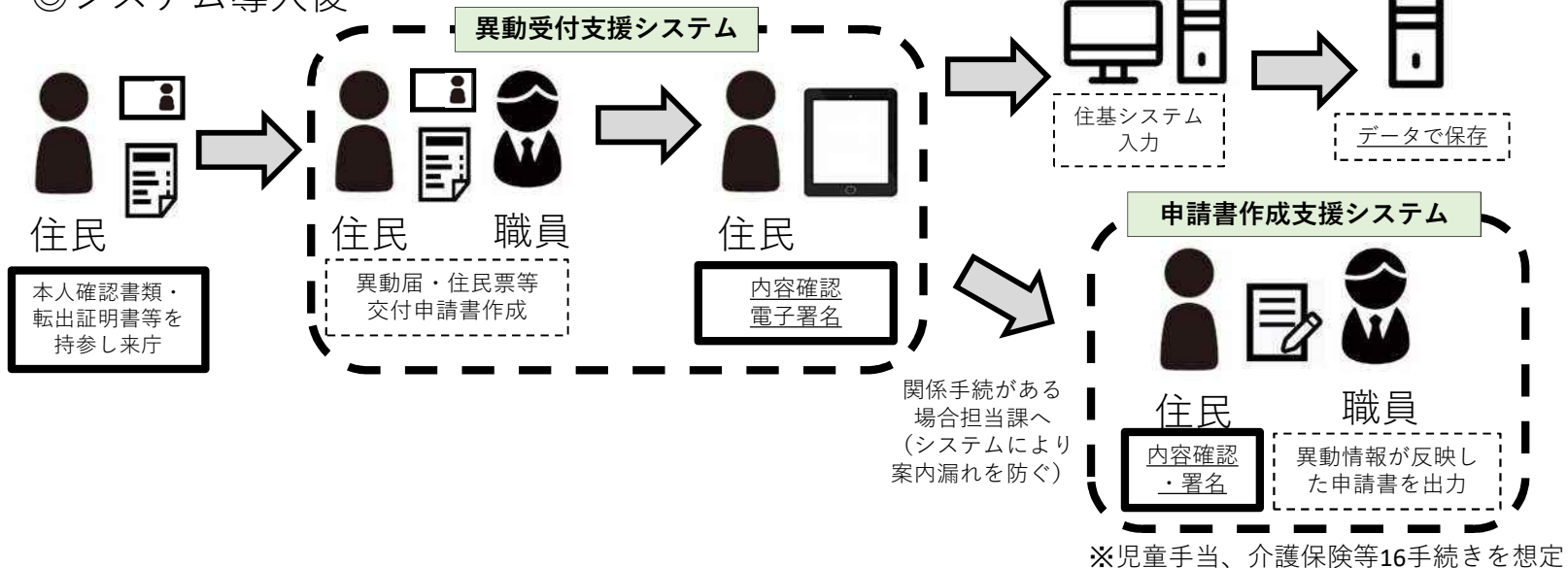
デジタル技術を活用した行政手続きの利便性を体感してもらい、
誰もがデジタルの恩恵を享受できる「取り残されない」デジタル社会の実現に向けた
第一歩としたい

異動受付支援システム・申請書作成支援システム導入前後のフローイメージ

◎従来の窓口受付



◎システム導入後



2 近くの公民館と市役所をつなげる取り組み

対象

市役所担当課へ出向いての相談、書類の提出

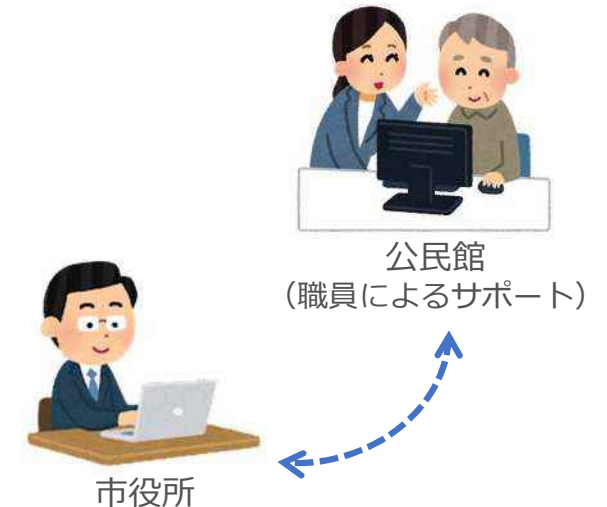
- ・ 農業に関する相談
- ・ 高齢者等雪下ろし支援事業の相談、書類の提出 など

現状

- ・ 和泉地区や阪谷地区など市役所から離れた地区にお住まいの方も市役所まで行かないと相談、書類の提出ができない
- ・ 高齢者をはじめ、担当課で相談しながら必要事項を記入する方が多い

手続き

- ① 公民館から担当課へ連絡して利用を予約
- ② 担当課と公民館をリモートで接続
- ③ リモートで担当者と相談
(必要に応じて操作方法を公民館職員がサポート)
- ④ これまで担当課窓口で提出していた書類を公民館で受領
⇒ 公民館が代わりに担当課に届ける



- 市役所まで行かなくても近くの公民館で相談や書類の提出が可能

導入予定時期 令和4年11月

導入イメージ

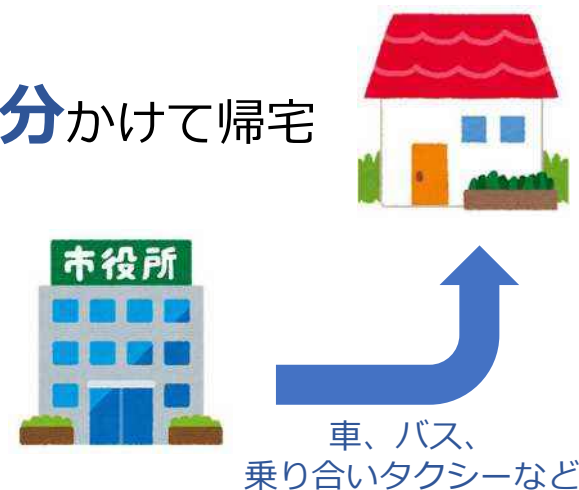
従来



担当者と対面で相談



20分かけて帰宅



導入後



リモートで担当者と
対面で相談



5分で帰宅



公民館に住民が集まる機会を活かし、
地域の情報や課題を把握し、
新たな地域づくり活動につながることを期待